

札幌学院大学 国際交流センター

NEWSLETTER No. 41

2019年4月1日

発行：国際交流センター

新学年、新学期です！ご入学の皆様、おめでとうございます。大学での4年間は、人間として大きく成長し変化する日々となります。どうか多くのことにチャレンジし、充実した大学生活を過ごしてください。

4月からは、新たな留学生(交換、正規)も大勢迎え、大学内では常に異文化が交錯しています。また、短期・長期の海外派遣や留学プログラムもありますので、ぜひ海外体験もしてみたいと思います。

2020年の東京オリンピックを控えるなど、日本全体が急速にグローバル化していますが、本学でも「グローバルな状態」はごく普通の状態になっていくかもしれません。

春、颯爽とスタートしていきましょう！



①日本語教育・文化体験プログラム(冬)、終わりました！

1月9日から2月9日まで、「日本語教育・文化体験プログラム(冬)」が本学で開催されました。今回は、韓国(中国籍含む)、台湾、オーストラリアから49名が参加して、1か月の日本語学習に励みました。週末にはサポート学生と共に道内各地へフィールドトリップに出かけましたが、真っ白な雪景色が大好評でした。北海道では当たり前の風景ですが、海外の学生たちにとっては憧れのようです。



平日は毎日、午前中は日本語の授業。入門から上級までの4クラスですが、ハードだったと思います。ですがプログラム生は日本語の先生と良い関係を築き、また空いている時間や休日にはサポート学生たちと外出や食事をするなど、楽しみもたくさんありました。

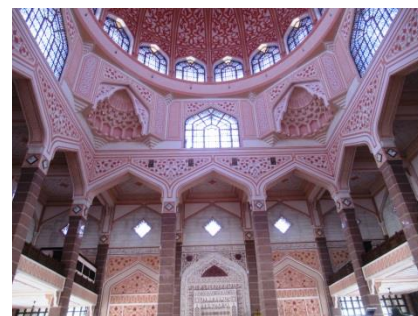
帰国の日は涙も見えましたが、SNSで連絡を取り合えるので距離感は昔より縮んでいるかもしれません。春休みに韓国へ遊びに行ったサポート学生や交換留学で渡った学生など何人かはすぐに再会したようです。

夏の日本語プログラムは6月27日から7月27日まで。サポート学生も後日募集を始めます！

②マレーシア文化研修プログラム

本学はマレーシアの TAR 大学、KDU 大学と 2017 年に協定を結び、2018 年 2 月に初めて数名の学生を派遣しました。その後、8 月には 2 名がインターンシップを現地で体験しました。

今回は、3 月 2 日から 9 日まで、2 名の学生が TAR 大学で英語やマレーシアの文化を体験しました。



ピンクのモスク(プトラモスク)



英語の授業に参加

マレーシアはいくつもの宗教、人種、文化が同居する国です。もちろん多国籍の食べ物も堪能できます。朝食にインド料理だったり、おやつには中華系のお菓子だったりバラエティ豊か。

クアラルンプールの中心部は個性的な高層ビルが立ち並び、世界各国からの観光客がひしめいています。

マレーシアと聞いてもピンと来ない方。ぜひ今年の派遣プログラム

に参加してみてください！



③チェンマイ大学異文化交流プログラム



本学の学生に人気のプログラム。2 月 27 日から 3 月 12 日まで行なわれました。北海道ではまだマイナス何度と言っている頃、チェンマイは 30 度超えの日々。気候だけでも大きな違いを感じますね。

チェンマイ大学の手厚いおもてなしを受けると同時に、本学の学生は現地の小学生に日本の遊びを教えるなど、交流も深めました。参加者はチェンマイ市内や郊外の村でのホームステイも体験。多くの新しい発見があったことでしょう。

近日中にこのプログラムの報告会を開催する予定ですので、日時などポータルでお知らせします。



国際交流のホームページもご覧ください！



<http://www.sgu.ac.jp/iec/>



Instagram

インスタグラムもどうぞ！ sgu_global

